

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成20年度 技術情報第9号(普通期水稻の斑点米カメムシ類)について (送付)

普通期水稻の斑点米カメムシ類について、下記のとおり取りまとめましたので送付します。

平成20年度 技術情報第9号

- 1 対象病害虫 斑点米カメムシ類 (クモヘリカメムシ, ホソハリカメムシ, シラホシカメムシ, アカスジカスミカメ 等)
- 2 対象作物 普通期水稻
- 3 予報内容
 - (1) 発生地域 普通期水稻地帯
 - (2) 発生時期 出穂期以降
 - (3) 発生量 平年並
- 4 予報の根拠
 - (1) 8月4～8日に行った県内各地の普通期水稻周辺のイネ科雑草地におけるすくい取り調査の結果は次のとおりであった。
 - ア カメムシ類の発生か所率は66.1% (平年(過去5年平均, 以下同じ) : 82.4%) と平年より低かった。
 - イ すくい取り調査(捕虫網20回振り)での平均捕獲虫数は 8.7頭 (平年 : 24.8頭) と平年より少なかった。
 - ウ 県全体の発生程度別割合は, 中発生以上の割合が26.6%で, 大半の地点は少～無発生であった。
 - エ カメムシ類の種類は, アカスジカスミカメが57.2%と最も多く, 次いでホソハリカメムシ29.7%, クモヘリカメムシ 6.8%, シラホシカメムシ 6.1%の順に多かった。
 - (2) カメムシによる斑点米の混入は, 米の検査等級格下げにつながり, 品質低下の主要な要因となっている。
- 5 防除上注意すべき事項
 - (1) 水田周辺の雑草地などが飛来源となるので, 出穂10日前頃までに畦畔雑草の草払いなどのほ場管理に努める。
 - (2) 出穂が早いほ場では集中的に被害を受ける恐れがあるので, 特に注意する。
 - (3) 航空防除等により広域一斉防除が行われた地域においても, 乳熟期以降の発生に注意し, 発生が多い場合は補完防除を行う。
 - (4) 一般防除地域については穂揃期に防除を行い, その後の発生状況にも十分注意する。なお, 防除後も発生が多い場合は, 穂揃期とその7～10日後に2回散布とする。
 - (5) 防除は, 農薬の使用基準を遵守し, 時期を失しないよう行う。

(参考資料)

第1表 普通期水稻出穂前の周辺イネ科雑草地調査における斑点米カメムシ類の発生状況(7月下旬～8月上旬)

調査年	2003	2004	2005	2006	2007	本年	平年 ²⁾
調査か所数	145	111	124	124	124	124	126
発生か所率(%) ¹⁾	55.9	81.1	91.1	91.9	91.9	66.1	82.4

※ 1) 発生か所率(%) = $\frac{\text{発生か所数}}{\text{調査か所数}} \times 100$

2) 平年は過去5年(2003～2007年)の平均。

第2表 普通期水稻出穂前の周辺イネ科雑草地調査における斑点米カメムシ類の地域別、発生程度別割合(2008.8.4～8調査)

地域	調査か所数	発生か所率(%)	発生程度別割合(%)				
			甚	多	中	少	無
南薩	20	90.0	0	10	30	50	10
北薩平坦	48	58.3	2	2	21	33	42
北薩山間	44	61.4	2	5	7	48	39
大隅	12	75.0	0	8	50	17	25
県全体	124	66.1	1.6	4.8	20.2	39.5	33.9

※ 発生程度別基準(捕虫網すくい取り20回振り虫数)

調査場所	発生程度				
	甚	多	中	少	無
雑草地等	61頭以上	31～60頭	11～30頭	1～10頭	0

第3表 普通期水稻出穂前の周辺イネ科雑草地調査における斑点米カメムシ類の種類別、地域別発生状況(2008.8.4～8調査)

地域	調査か所数	項目	クモハリ	ホソハリ	ミミアオ	シラホシ	イネ	アカシジ	合計
			カメムシ	カメムシ	カメムシ	カメムシ	カメムシ	カスミカメ	
南薩	20	平均捕獲虫数 ¹⁾	1.5	6.3	0	0.9	0	4.0	12.7
		発生か所率(%) ²⁾	35.0	85.0	0	40.0	0	50.0	90.0
北薩平坦	48	平均捕獲虫数 ¹⁾	0.3	2.0	0	0.6	0	4.4	7.3
		発生か所率(%) ²⁾	6.3	39.6	0	22.9	0	33.3	58.3
北薩山間	44	平均捕獲虫数 ¹⁾	0.6	0.9	0	0.3	0	5.1	6.9
		発生か所率(%) ²⁾	4.5	50.0	0	13.6	0	36.4	61.4
大隅	12	平均捕獲虫数 ¹⁾	0.2	5.0	0.1	0.5	0.2	8.5	14.4
		発生か所率(%) ²⁾	16.7	50.0	8.3	25.0	16.7	66.7	75.0
県全体	124	平均捕獲虫数 ¹⁾	0.6	2.6	0.0	0.5	0.0	5.0	8.7
		種別構成比(%) ³⁾	6.8	29.7	0.1	6.1	0.2	57.2	100
		発生か所率(%) ²⁾	11.3	51.6	0.8	22.6	1.6	40.3	66.1
		平年 ⁴⁾	2.3	3.7	0.0	0.6	0.1	18.0	24.8
		2007年	2.8	4.7	0.0	0.6	0.3	17.6	25.9
		2006年	4.7	6.1	0.0	1.4	0.1	32.3	44.6
		2005年	0.3	3.6	0.0	0.5	0	10.7	15.1
		2004年	3.0	3.2	0.1	0.5	0	25.1	32.0
		2003年	0.8	1.1	0.1	0.1	0.1	4.3	6.4

※ 1) 平均捕獲虫数 = $\frac{\text{総捕獲虫数}}{\text{調査か所数}}$ 2) 発生か所率(%) = $\frac{\text{発生か所数}}{\text{調査か所数}} \times 100$ 3) 種別構成比(%) = $\frac{\text{捕獲虫数}}{\text{総捕獲虫数}} \times 100$

4) 平年は過去5年(2003～2007年)の平均。